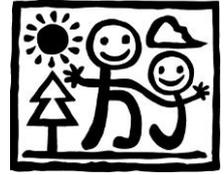


令和元年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 共同開催
(大東建託グループみらい基金 助成事業)



お外で子育て推進講座 実施報告書

こどもの“遊ぶ”を考える～プレーパークの魅力って

共催団体 まつさかプレーパークをつくる会

実施日時 令和元年 9 月 22 日(日)10:00～15:00

開催場所 松阪市産業振興センター2 階/別館

①講座の概要

- ・ 関戸博樹氏に、「遊ぶ」について考えるきっかけとなるお話をいただいた。
- ・ 脳の発達と「遊ぶ」の関わり・社会背景との関係等、データに基づいた話もうかがった。
- ・ 現場での実体験を聞いたり、写真を見ながらプレーパークの魅力を伝えたりしていただいた。
- ・ 参加者同士が「遊ぶ」を考えるためのワークや、意見交換をする時間もあった。
- ・ 午後は雨のためプレーパーク体験ができず、団体スタッフとの座談会となった。

②お外で子育てを広めるための告知の方法や参加者の構成

【告知】ポスターとチラシ

掲示、配布場所：市の健康センター・子育て支援センター・図書館・英会話教室・音楽教室・私立幼稚園・託児所・小児科・公園にて声かけ・スタッフ友人知人
／SNS／新聞記事（2社）／市民活動センターの広報誌

【参加者】子ども20名、乳幼児の父母23名（◎県少子化対策課、保育士、教師）・市議会議員3名・保育系関係者6名、計52名

③講座を終えて…(感想等)

“プレーパーク”があまり知られていない松阪で、多くの方に知っていただける良い機会となった。

講座終了後のアンケートには「自分が決めて自分でやるチャンス」を大人がうばわないような環境づくりを心掛けたいという意見や、非認知脳が遊びによって育つということは理解したので、どう日常で活かすかを考えていきたいという意見もあった。また「お母さんが心地良いことを選べばよい。無理をする必要はない」という関戸さんの言葉に救われたと話すスタッフもいた。

スタッフ同士楽しみながら準備を進めることができたこと、お互い「ほかの人の子を見るくらいがちょうどいい」という信頼関係が自然とできたことも、大きな収穫となった。

今後も月1度の定期開催のみならず、週末や長期休暇の開催、勉強会主催なども考えていきたい。



【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】<http://bouken-asobiba.org>